

龍宮苦界玉手箱

207  
412





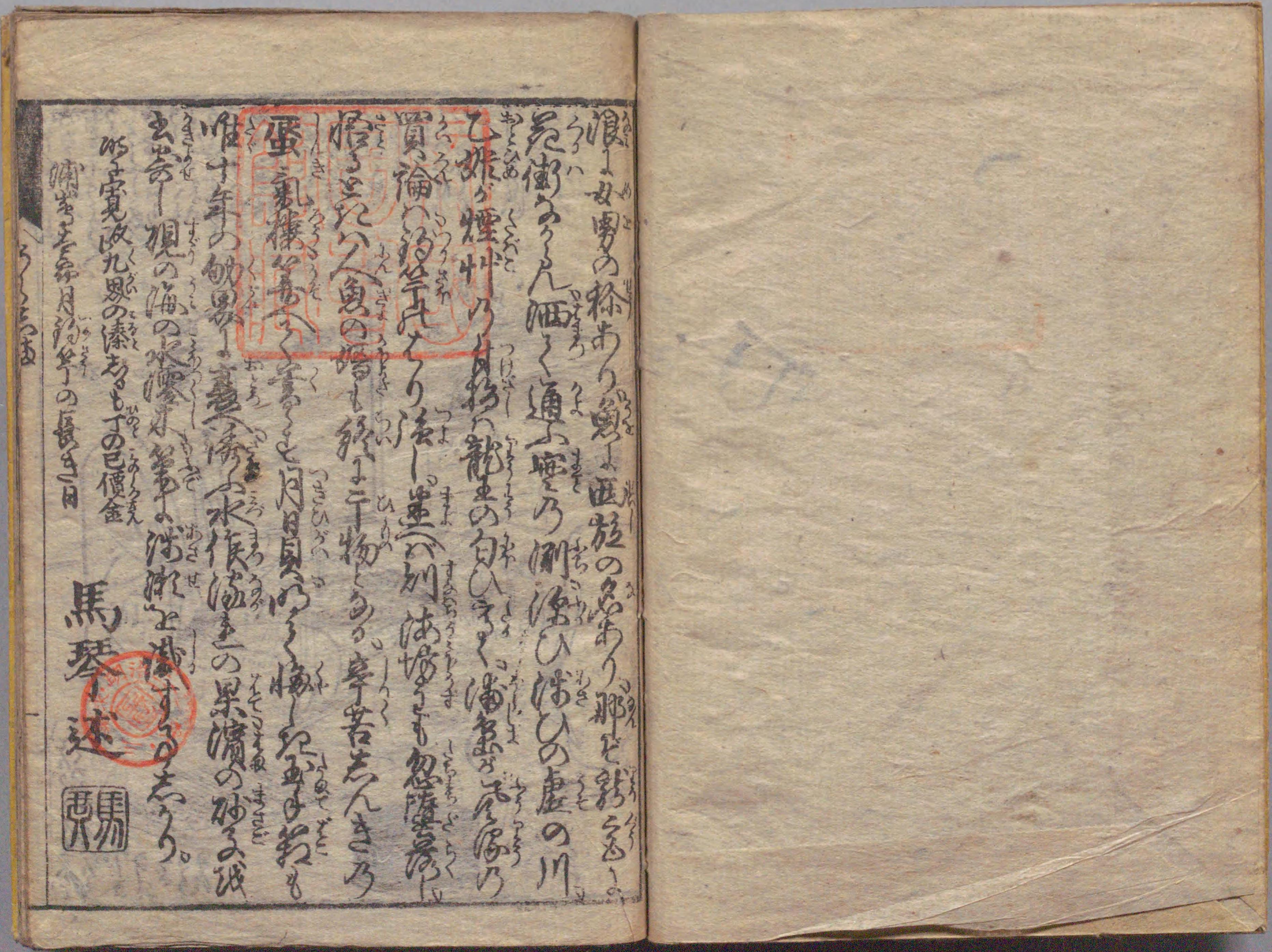
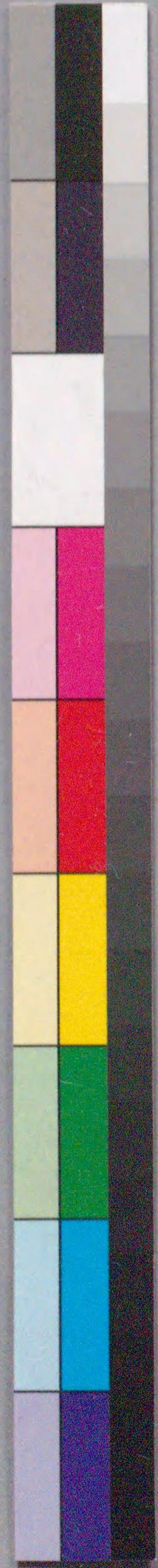
新定之世田屋日記

207  
412

新定之世田屋日記







浪し女男の孫あり魚し西旅の鳥あり那を結るる  
 花樹さうらん酒く通ふ煙の側流ひ流ひの虚の川  
 乙妹の煙州の月影の龍まの白ひきく浦急がる家乃  
 買論の約草其たり法し並六列法場をも忽降る  
 悟らまの人の魚の増も終り干物とある亭若とんき乃  
 蛋氣樓の毒く書くと月日貝のく梅く丸玉子若も  
 唯十年の幼界し夏流の氷作流まの果濱の砂み哉  
 虫若し現の海の水濃く第の流流と流するの志あり  
 此正寛政九畧の漆あるも丁の已價金

蘭書玉手箱の長手目

馬琴述



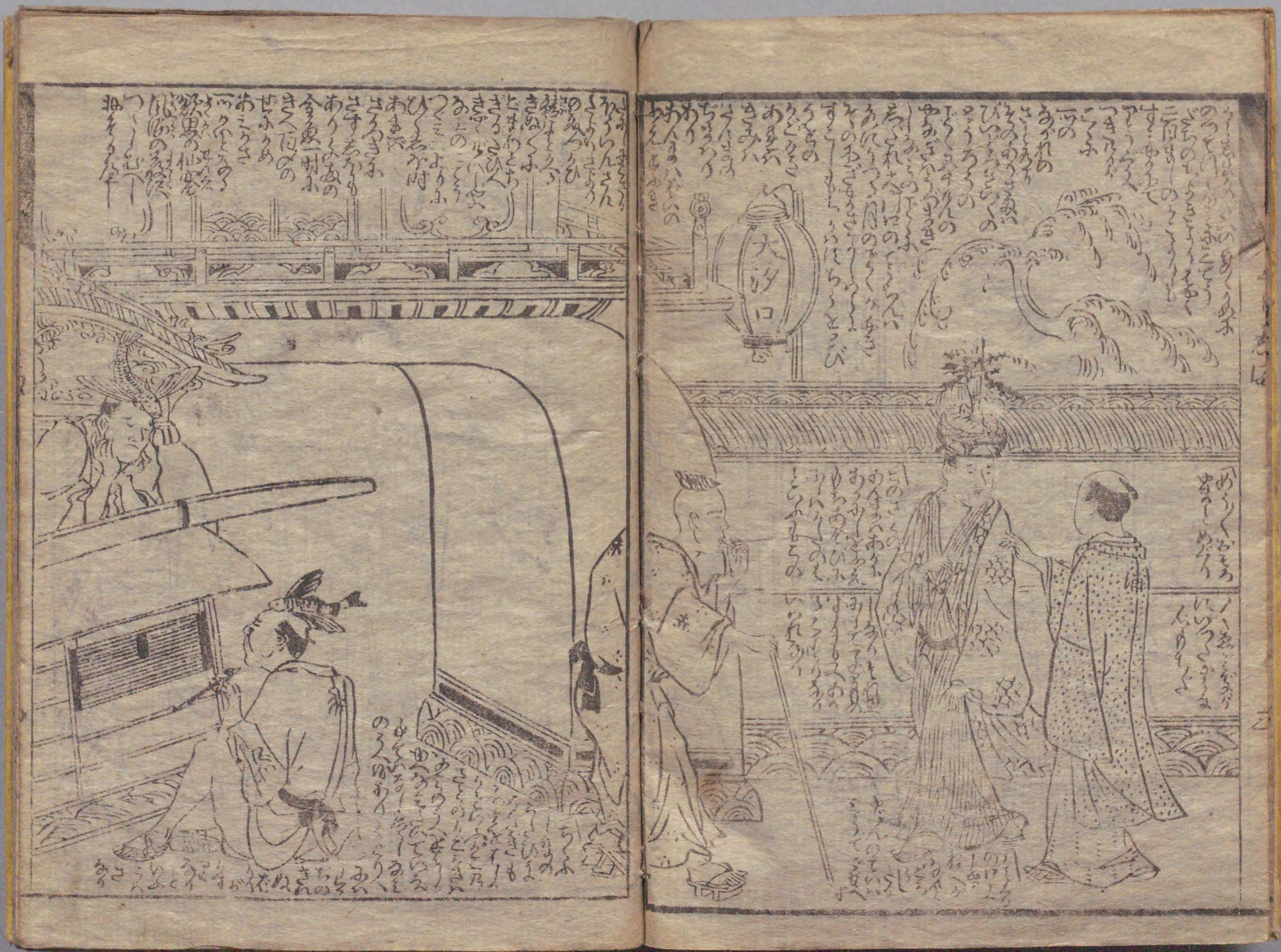








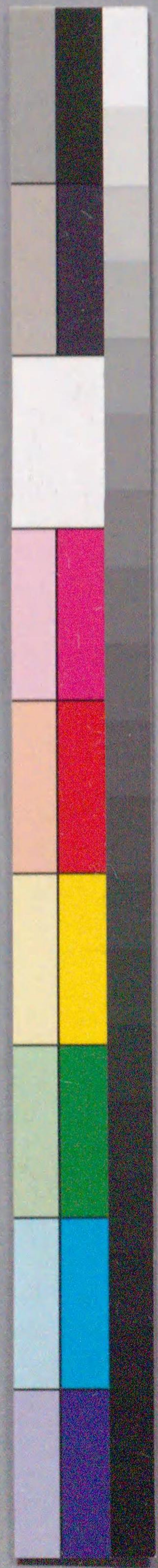




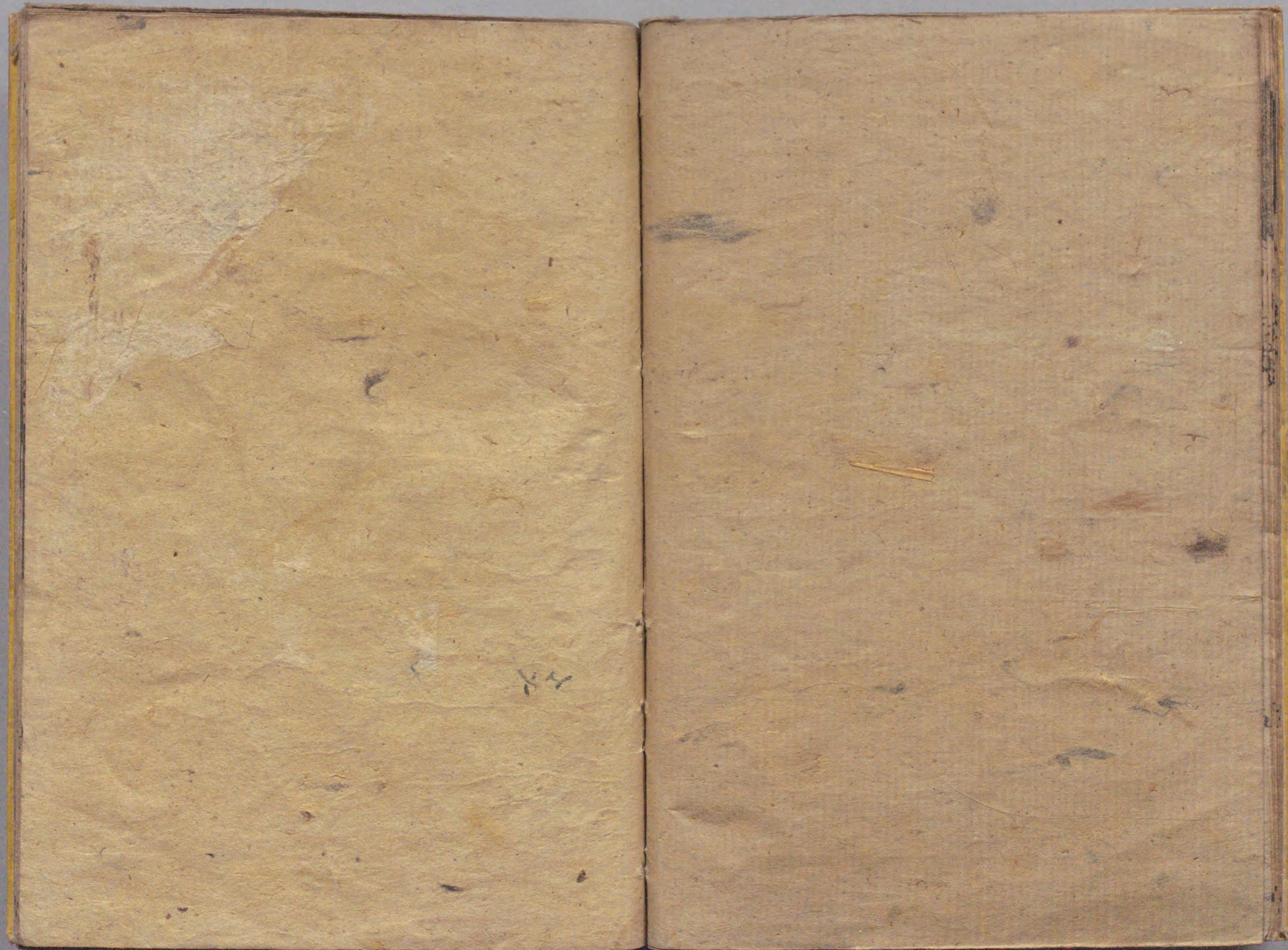












国立国会図書館 竜宮苦界玉手箱：3巻 207-412

ガラス使用

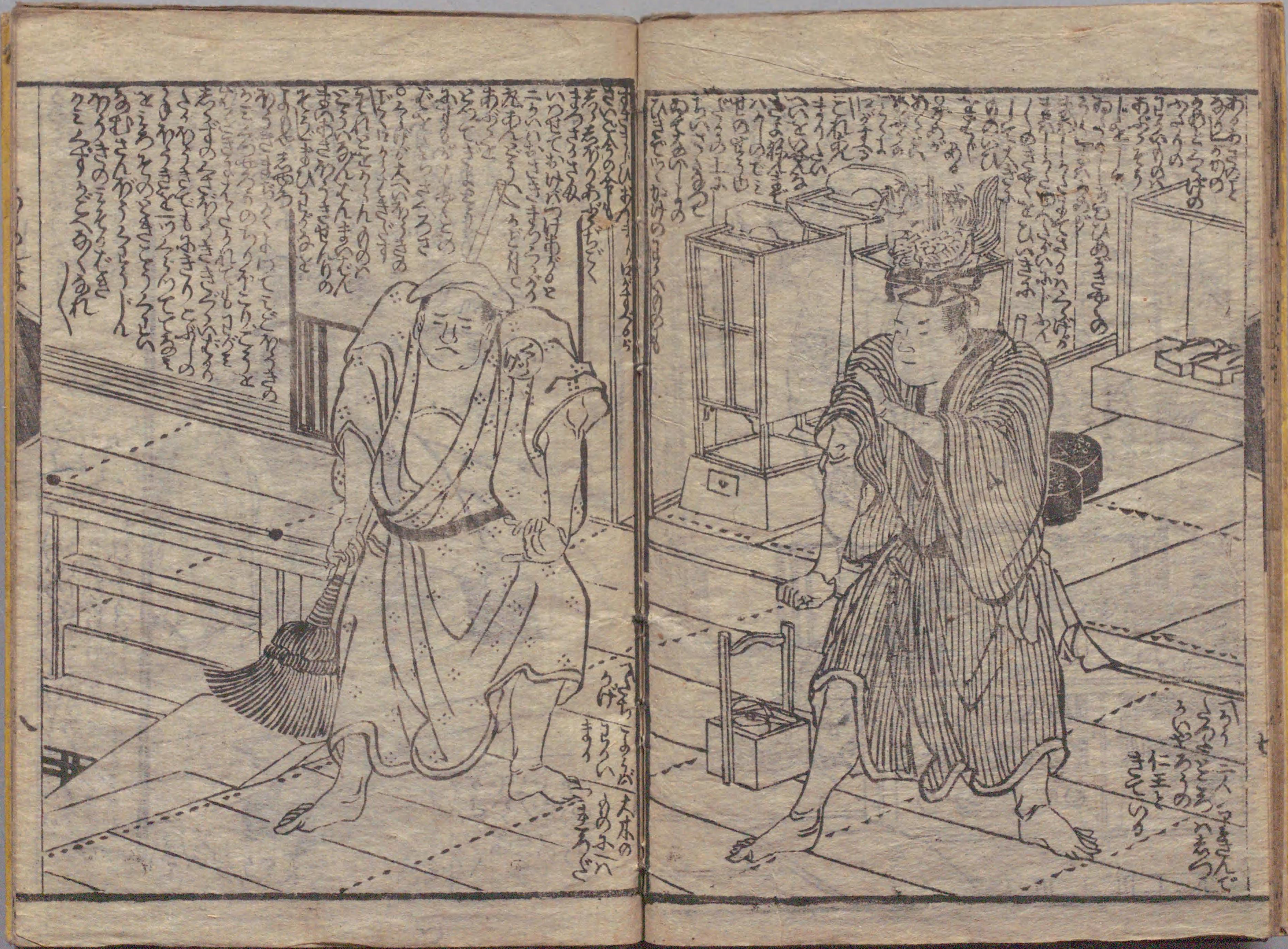








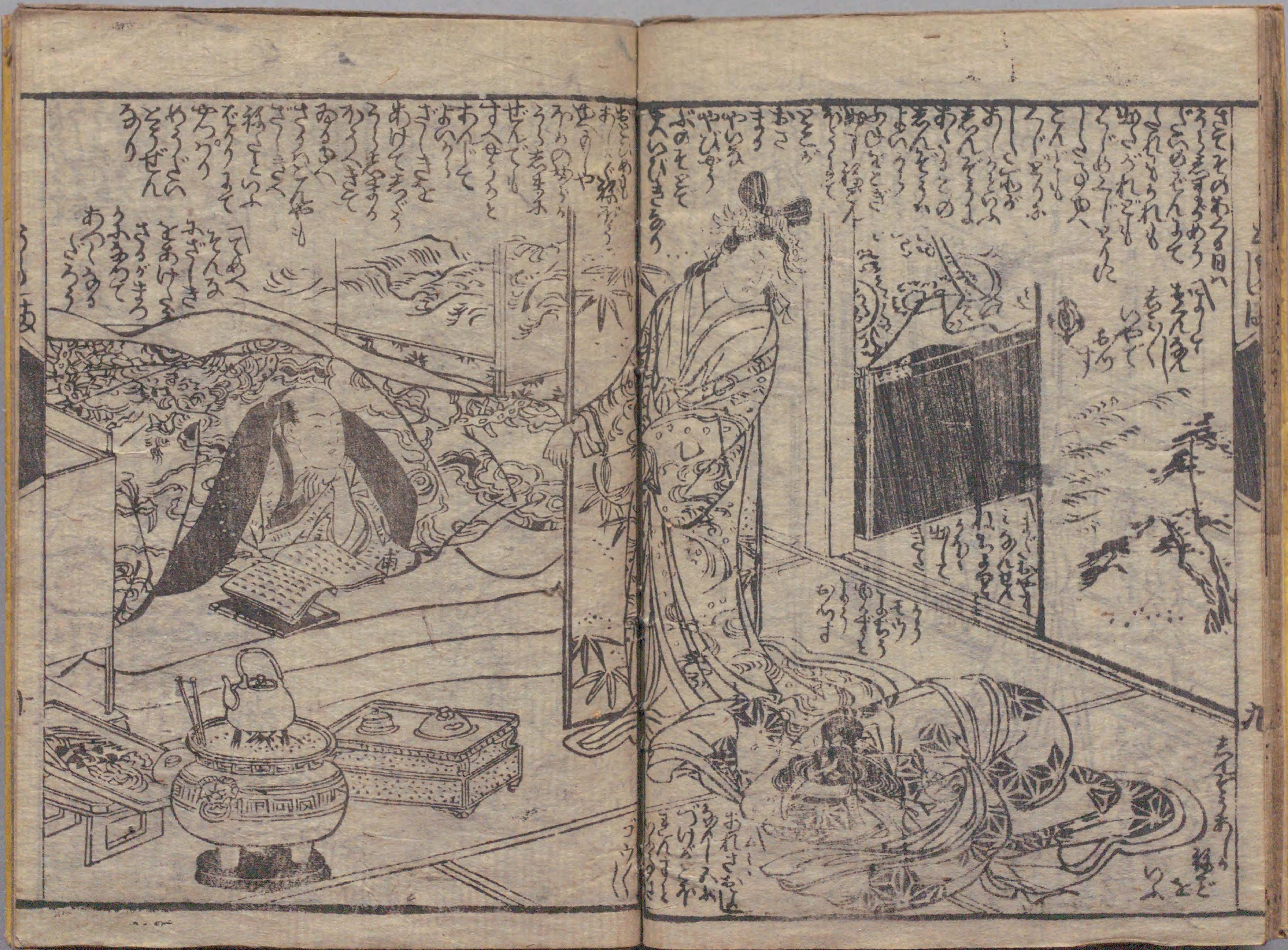
















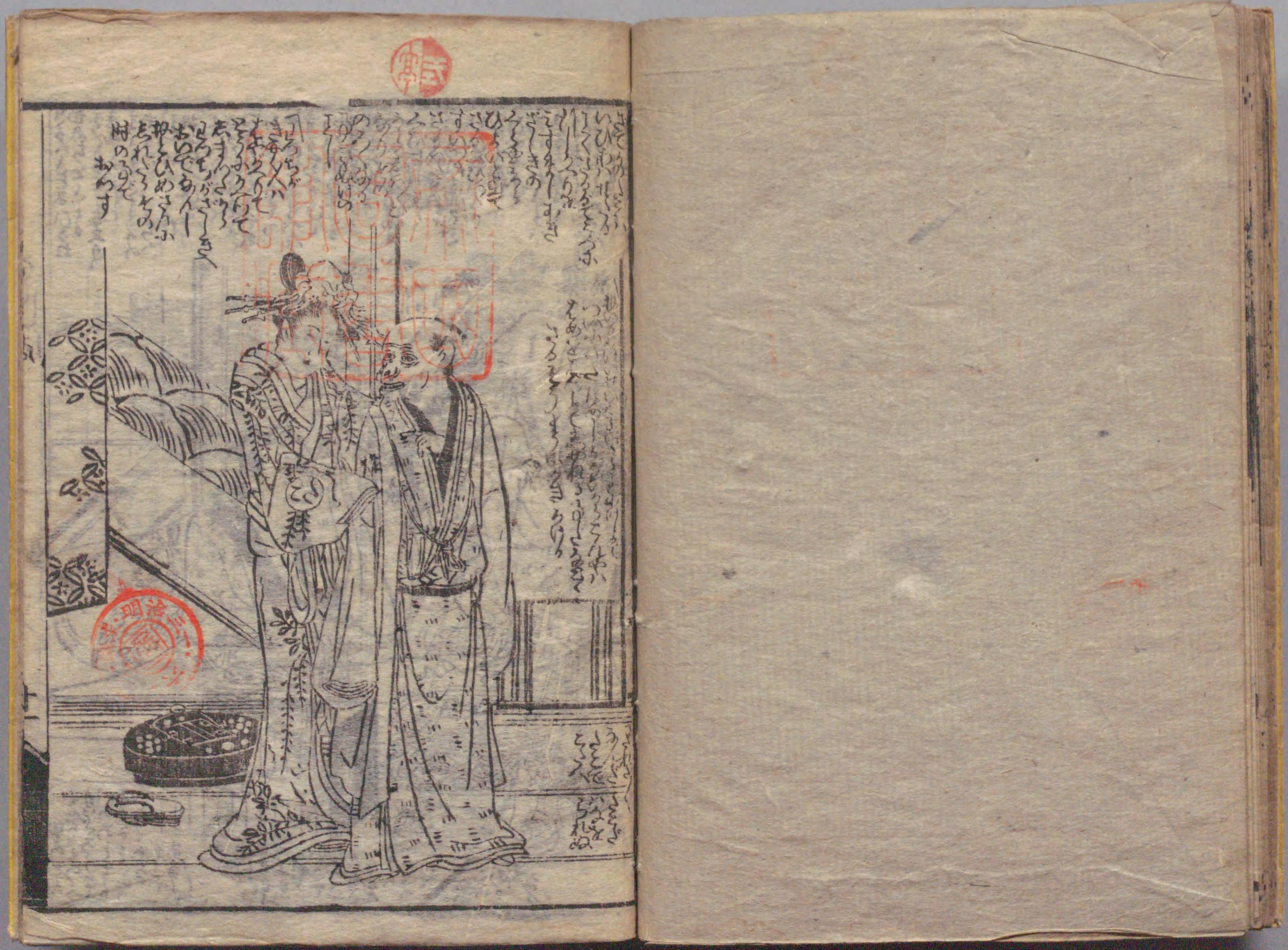
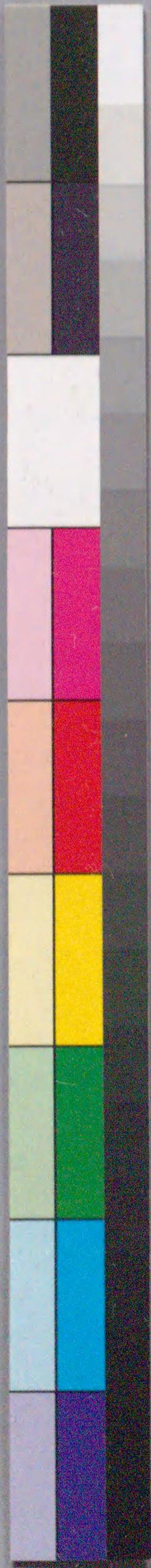




国立国会図書館 竜宮苦界玉手箱：3巻 207-412

ガラス使用





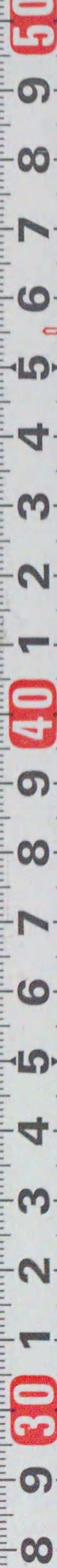










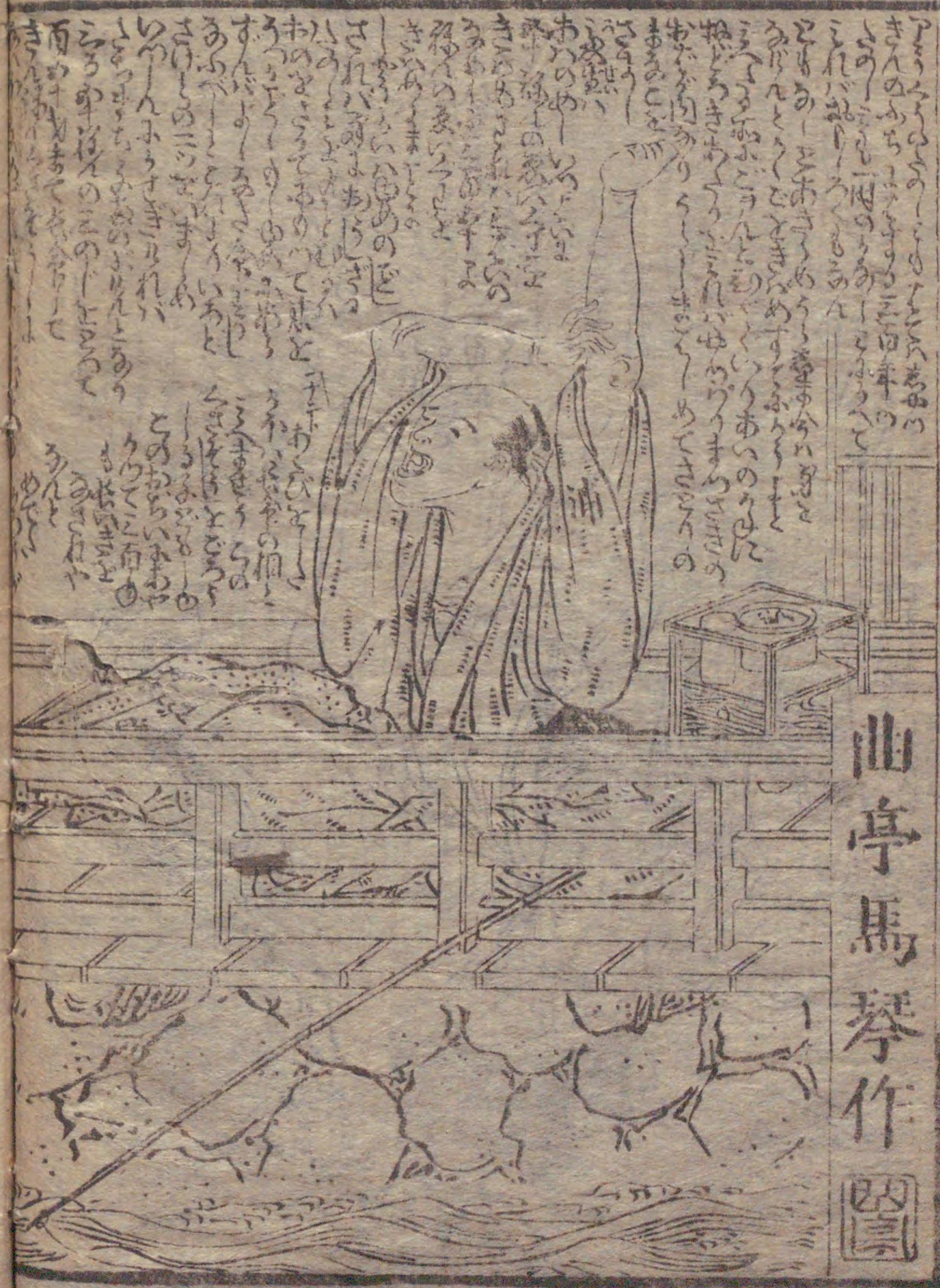








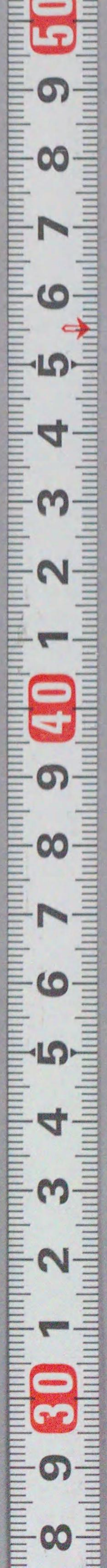
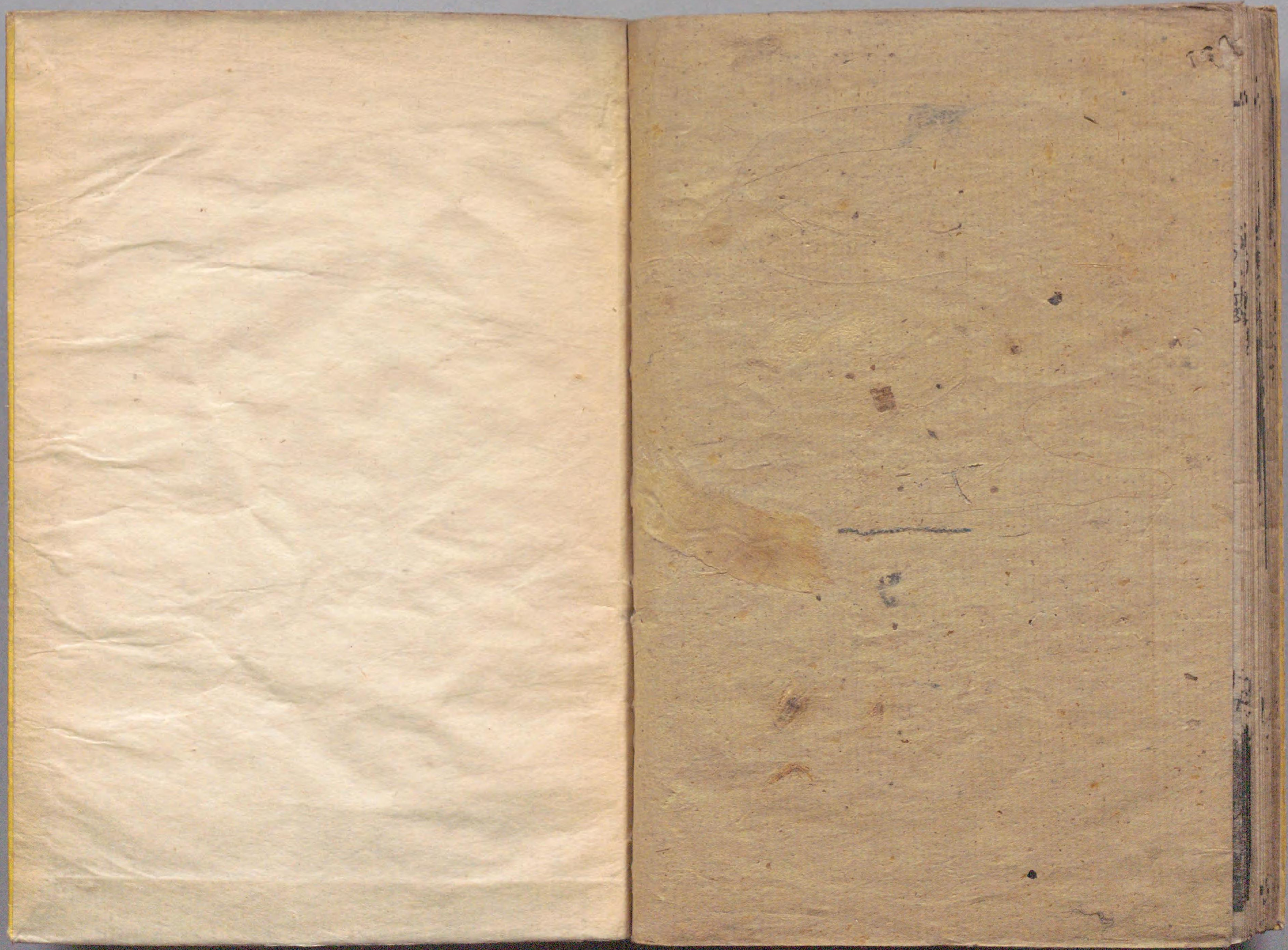
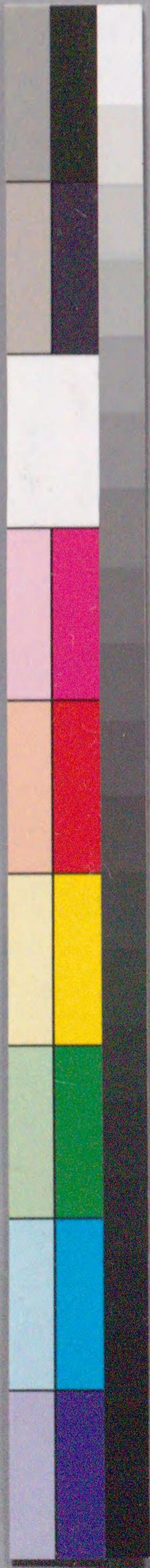
207  
412



山亭馬琴作  
圖







国立国会図書館 竜宮苦界玉手箱：3巻 207-412

ガラス使用





国立国会図書館 竜宮苦界玉手箱：3巻 207-412



ガラス使用

